

**製品名: SR-2B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18248**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	54kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HTR2B
別名	HTR2B; 5-hydroxytryptamine receptor 2B; 5-HT-2B; 5-HT2B; Serotonin receptor 2B
遺伝子 ID	3357.0
SwissProt ID	P41595
免疫原	抗血清はヒト HTR2B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 15-64

**背景**

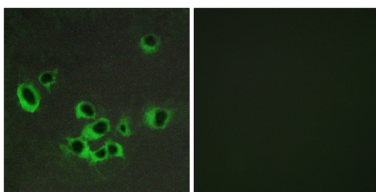
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する、5-ヒドロキシトリプタミン（セロトニン）に対する複数の異なる受容体の 1 つをコードしています。セロトニンは、神経伝達物質、ホルモン、マイトジェンとして機能する生体ホルモンです。セロト

ニン受容体は、心血管機能や衝動的な行動の調節など、セロトニンの中枢および末梢における多くの生理機能を媒介します。このタンパク質の発現を阻害するマイナーアレル（グルタミンからストップへの置換、Q20\*と命名）の集団および家系ベースの解析、およびマウスを用いたノックアウト研究は、この遺伝子が衝動性に関与していることを示唆しています。しかしながら、テストステロン値の上昇など、他の要因も関与している可能性があります。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2016年3月],機能: 神経伝達物質、ホルモン、ミトジェンとして機能する生体ホルモンである 5-ヒドロキシトリプタミン（セロトニン）の複数の受容体のうちの1つです。この受容体は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質と結合することで作用を媒介します。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。サブユニット: MPDZ と相互作用します。組織特異性: ほとんどの末梢臓器で検出されます。脳では低い発現レベルしか認められませんでした。、

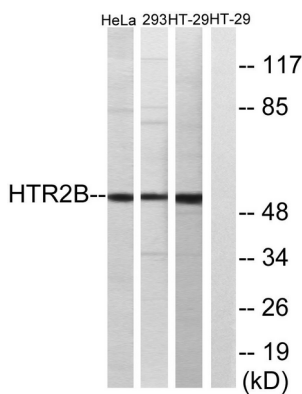
## 研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;ギャップ結合;

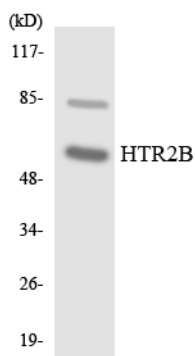
## 画像データ



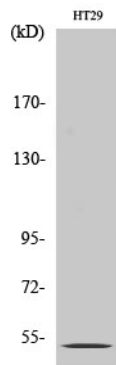
HTR2B 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HTR2B 抗体を用いた HT-29、293、および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



HTR2B 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



SR-2B ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析